

## 平成 28 年度 地理歴史・公民科研修会 報告書

- 報告者 勝俣 健（御殿場西高等学校）
- 実施日時 平成 28 年 11 月 21 日（月）
- 実施会場 静岡県私学協会・静岡刑務所
- 参加者 地理歴史・公民科教員 27 名
- 日程
- 9：30～9：45 受付
  - 9：45～10：00 開会式 日程説明（於：静岡県私学会館）
  - 10：00～12：00 研修① 講演
    - ・弁護士法人栗田勇法律事務所 栗田勇氏
  - 12：00～12：45 昼食・休憩
  - 12：50～13：15 移動（タクシーにて）
  - 13：30～15：00 研修② 視察 静岡刑務所
    - ・静岡刑務所についての説明
    - ・刑務所内視察
  - 15：00～15：30 反省会・閉会式（於：静岡刑務所内控室）
  - 15：40～16：00 移動（タクシーにて）
  - 16：10 JR 静岡駅で解散
  - 16：30～17：30 意見交換会・懇談会（於：梅蘭 静岡店）

### 参加者の感想（反省会での意見）

- ・弁護士の生の声、学校に報告したい。
- ・トラブルやリスクはつきもの。学校に戻り普段の指導を確認したい。
- ・法的なことの知識より、法的対応の意識が必要なのがよくわかった。
- ・相談しやすい職場環境の大切さがわかった。
- ・少年事件の場合の警察から家庭裁判所までの流れが良く分かった。
- ・学校は内向的、抱え込み、大事になってからでは遅いことがわかった。
- ・見ることが難しい、貴重な体験ができた。
- ・社会復帰するためのプログラムを知ることができた。
- ・刑務所の視察をもっと時間をかけて欲しかった。
- ・刑務所のことを授業中だけでなく、生徒に話をしたい。
- ・今回のような講演や視察は良かった。
- ・実際に聞く見るは教員にとって大切。
- ・見なければ、理解できず、伝えられない。良い研修会だった。
- ・研修会で得たことは、学校で還元したい。